



広報 かわにし

発行川西町・町長根津正三 編集企画室広報係小海正隆 定価1部5円 印刷 白南風社

人口の動き	
10月1日現在	
男	5,147 (+10)
女	5,277 (+3)
計	10,424 (+13)
世帯数	2,358 (±0)
()内は前月との比較	

わたしたちを
つがまえなけて....
町内にキジ100羽を放鳥

新潟県猟友会及び、川西町猟友会の手で、このほどキジ100羽が町内(伊友・三領・寺ヶ崎方面)に放たれました。
このキジは、飼育されたため非常になれませんが、捕獲してはらひらひらとこぼれ落ちてきます。足に印を付けてありますので、捕えたときは、その場を放してあげてください。



心配ごと相談

- 10月14日 橋出張所
 - 22日 小白倉公民館
 - 11月7日 月見荘
 - 12日 元町公民館
- 二 いずれも午後一時から三時まで 二

10月の休日救急医

急患以外はお遠慮を

12日	山口	医院	2-2174
19日	富田	医院	2-3269
26日	庭野	医院	2-2711
11月上旬の予定			
2日	大島	医院	2-2957
3日	至誠堂	医院	2-3276
9日	中条	病院	7-3018

午前9時から午後5時まで

町長選挙 町議補欠選挙 は十九日

三ない運動で進みましょう

任期満了(十月二十七日)による町長選挙と、議会議員補欠選挙(欠員一名)は、今日十九日投票と決定しました。

その日程は

- 十月十二日 選挙期日の告示
- 立候補の受付開始
- 不在者投票開始
- 十月十三日 立候補届の締切り
- 十月十六・十七日 町長選挙立会演説会
- 十月十八日 不在者投票最終日
- 十月十九日 投票、午前七時から午後六時 十六か所の投票所 開票、午後八時半、役場

以上のとおりですが、立候補者が、それぞれ一人の場合は、十四日以降の日程は中止、または変更

されます。

今回の有権者は

1. 日本国民であること。
2. 昭和三十年十月二十日までの出生者であること。
3. 昭和五十年七月一日以前から引続き川西町に住所を有すること。

4. 選挙犯罪等で選挙権、被選挙権を停止されていないこと。
5. 禁治産者等でないこと。

おおむね、以上の要件を全部満たしている方は、投票することができます。

今回の投票は

1. 町長選挙については、記号式投票用紙となり、候補者氏名を印刷してありますので、投票しようとする人の氏名の上の欄に、○印を記入してください。△印や□印や×印を記入しますと、

協力に感謝 農村総合整備計画

農村総合整備計画の部落要望の取りまとめには、全町内の皆さんのご協力をいただきありがとうございました。現在、要望事項等の整理に大わ

らわの状況ですが、皆さんの期待にそえるよう努力したいと考えています。具体的なことについては、何らかの方法でお知らせする予定にしています。

無効となりますのでご注意ください。

なお、不在者投票は、従来どおりの様式の投票となりますが印刷の色は、黒色が町長選挙用紙です。

2. 町議補欠選挙の投票は、赤刷りの用紙に従来どおり、候補者氏名を一名記入してください。

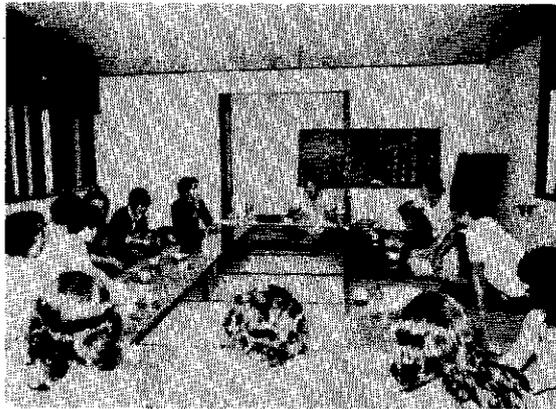
明るく正しい選挙を

選挙をきれいにするためには、お金や品物、義理や人情に惑わされないことが大切です。

健在なり

青年団活動

▲町に青年団活動が消えつつあることは、なんとしても寂しい。先日も、なんとかして昔の青年団をよみ返せたい、と往年の団長などをまじえ、研究会がもたれているが、時代の流れ、



今までの選挙で、一部分の方ですが違反者を出していることは残念なこと。今回こそは、候補者はもちろん、運動員も私たち有権者も、選挙のまもりを守り、貴重な一票をけがさない、きれいな選挙を推進して、過去における汚名を返上したいものです。

教育委員会 人事を変更

教育委員長の丸山宗太郎氏は、先月十五日任期満了により退任されました。向氏は、昭和三十九年七月教育委員に就任、以来今日までの長期間、委員長として多くの業績を残されています。これにともない、教育委員会の人事は、次のようになりました。委員長 小川 伊作

善意ありがとう 香典返し二件

◎伊友の権間利一さんから、先に亡くなられた、父治郎兵衛さんの香典返しとして三万円。
◎高原田の丸山満さんから、亡くなられた父安太郎さんの香典返しとして一万円。それぞれ社会福祉社にご寄附いただきました。

人の動きなどから、簡単なことではなかったようである。ところで、こんな状況をよそに、いまだ衰えもみせず活発な団活動を展開している所がある。団員数二十三名、明治年代からの議事録が保存されているという、伝統と歴史を誇る小白倉青年団がそれである。

今月は、同団の活動状況を紹介することにしました。町内の青年諸君の奮起の一助になれば幸いです。

九月十九日、今年第十四回目の定例総会を開催、おもしろも、農村総合整備計画の部落要望を青年団にも検討を要請されたとか。

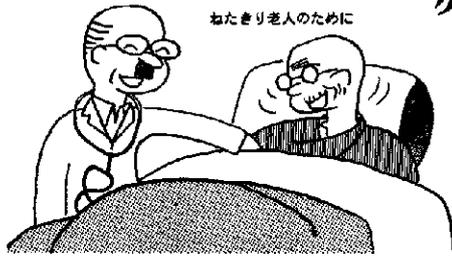
い、その活発なる論議はみごとなもの、十年後の部落の展望はわれわれ若い者が見定

町内さくほ

おもしろい風習として、祭りには神社にモミジの大木(お花木という)を奉納し、部落でおめでたいことのある家を中心へのお返しも大きい。

こんな組織が、もう一度町全体につくれるなら、どんなにかすばらしいことだろう。小白倉青年団よすえ長く、と念じつつ帰路を急いだ。(写真・総会で語合う小白倉青年団)

- 職務代理者 金山良晃
- 委員 馬場ト輝
- 教育長 丸山富司



むたきり老人のために

赤い羽根 共同募金のおねがい

今年も、全国いっせいに赤い羽根共同募金が始まりました。町では、封筒募金によって毎年皆さんの協力をいただき、福祉施策に大きく貢献していますが、今年も四十五万五千円的目標で皆さんにお願いすることに

文化の秋です あなたもどうぞ作品を!!

来月の十五、十六日に、川西町では初めての総合的な「美術展」が開かれます。文化の香り高い町を育てていくため、町民の皆さんの趣味などを、是非この機会にひろうしていただきたい。

- ※出品規程
- 主催 町美術協会
 - 後援 教育委員会、商工会等
 - 会期 十一月十五日(土)から十六日(日)、九時～五時
 - 会場 総合センター
 - 対象 町民及び町内に勤務する人で中学生以上
 - 作品 絵画、書道、写真等 点数制限なし、発表済の作品でもよい。
 - 参加料 一点につき一般三百円、中高生二百円
- その他詳細は、高校川西分校か総合センターへ
なお、書道部門は、今月二十八日まで毎週火曜日夜七時からセンターで練習会を行っています。無料です。どうぞ。

月額四千元

在宅重度障害者手当を新設

今月から、在宅の重度障害者の方々に、福祉手当が月額四千元支給されることになりました。この制度の概要は、次のようになります。

- 一、日常生活に常時介護を要する程度の身体障害者、(身体障害者手帳一級及び二級の一部を含む。)
- 二、長期にわたる安静を必要とする

戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

- 戸田 琴子 賢樹 三女 仁 田
- 羽鳥 佳康 剛 二男 木 落
- 五十嵐リエ 勝一 長女 野 口
- 星名 裕美 光夫 長女 伊 友
- 戸田 裕紀 和雄 長男 野 口
- 登坂 道大 誠 二男 岩 瀬
- 丸山安紀子 進 二女 原 田

民俗資料

【九月分】

- 入手品 仙田校歌額、仙田校額
- 仙田校旗、仙田青年学校旗、室島青年団旗、少年団旗、真綿かけ具
- 大小、八反取り二丁、しよいばしご、やせ馬、おいこ、ねこ(子供背中あて)、こだし(てご)、軍隊用皮きやん、ゲートル、雨がっぱ、つのもう、ズックはいのう、たてきね

人権

コーナー⑥

△心配ごと▽
住宅が古くなったので、改装したいと思いついて、工事の足場等の関係で、工事中隣接地を使用させてほしいと隣家に申し入れたが、なかなか承諾してくれませんでした。どうしたらよいでしょうか。

△お答え▽
土地の所有者は、建物の建造、または修繕のために必要な範囲で、隣地の使用を請求することができます。しかし、隣人に損害を与えた場合には、賠償しなければなりません。

●寄贈者(敬称略) 室島部落、押木竜吉(田戸)、上村誠(上野)、南雲正明(中仙田)



かわにし 伴壇

日記帳さびしき残暑の日の続くか茶葉蒔く一雨はしき残暑かな刈り終えし田の広々と暮れにけり露深しうらなりのなす二つ三つ

小白倉 江口凡石
敬老の白うれしき事の多かりし掛け稲にくらくなりたる作業小屋掛け稲の乾く残暑の日は続く

小白倉 片桐玉章
放課後の校庭広く秋雨す
野沢菜の青くそだちて秋日和小春日や写生の子等の笑い声

松風園 南雲文彦
赤とんぼ飛びひろびろと白き雲
中仙田 仙蒼子
野の花に雁来紅も添えて持ち

納税メモ

間接税(統)
△揮発油税II揮発油の製造者に、移出量により課税
△石油ガス税II石油ガスを自動車用の石油ガス容器に充てんする者に、充てん重量により課税
△航空機燃料税II航空機の所有者に、積込まれた燃料の量により課税

このように量に対して課税されるものを従量税といい、物価が上がっても税収は増えません。一方、価格に対して課税する従価税は、物価上昇により、税収も増加します。

たかさごーご満に

- ◎新郎 田口 節男 木 落
- ◎新婦 大和田美千子 福 島から
- ◎新郎 高橋三三男 中仙田
- ◎新婦 高橋 直子 田 中から
- ◎新郎 皇山 一久 山野田
- ◎新婦 宮澤みちよ 十日町から

おわび

先月号、老人の記事の中で、喜寿祝金四一六人に、との見出しがありました。これは敬老祝金四一六人のあやまりでした。訂正しておわびします。